

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8355
担当部課名	保健福祉部	障害福祉課		
事務事業名	知的障害者スポーツ大会		事業コード	15210

1 総合計画における位置づけ

政策名	1 第 5 章	いきいきとした生涯学習社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第 2 節	生涯スポーツ・レクリエーションの振興	~63 年度
施策名	第 1 施策	スポーツ・レクリエーション活動の促進	

2 実施根拠及び関連法令等

神奈川県ゆうあいピック大会(神奈川県知的障害者スポーツ大会)開催要綱

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)									
神奈川県ゆうあいピック大会(神奈川県知的障害者スポーツ大会)の参加を支援し、知的障害者の健康の維持、体力の増進並びに活発的な精神活動の促進を図る。		市内在住及び市内更生施設等に通っている知的障害者									
		対象数	2,169人 市内の知的障害者								
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要									
<ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県ゆうあいピック大会への参加支援 ・全国障害者スポーツ大会への参加支援 <平成13年度決算内訳> <table border="0"> <tr> <td>バス等賃借料</td> <td>474,600円</td> </tr> <tr> <td>大会への補助金</td> <td>100,000円</td> </tr> <tr> <td>全国大会参加者報奨金</td> <td>50,000円</td> </tr> <tr> <td>その他需要費等</td> <td>526,655円</td> </tr> </table>		バス等賃借料	474,600円	大会への補助金	100,000円	全国大会参加者報奨金	50,000円	その他需要費等	526,655円	なし	
バス等賃借料	474,600円										
大会への補助金	100,000円										
全国大会参加者報奨金	50,000円										
その他需要費等	526,655円										
		(5) 個別計画の概要									
		計画名									
		計画年次	年度～年度								

4 評価指標

指標名	大会参加状況		
指標式	参加者数 / 参加希望者数 × 100		
指標設定の意図	大会への参加希望者に対する対応状況を表す。		

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	100	100	a 100	b 100	100	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	1,380	1,282	1,152	1,349	1,044
	人員・時間数	0.05人	0.05人	0.05人	0.05人	0.05人
	人件費	420	420	420	420	420
	その他経費					
	合計	1,800	1,702	1,572	1,769	1,464
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$	
理由 :	毎年、大会に参加を希望する知的障害者が非常に多く、十分目標を達成している。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A : 適応している	理由 :	生涯学習社会を作っていくうえで、知的障害者に対するスポーツ及びレクリエーションの振興は非常に重要である。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	事業の効率的な運営や、費用の削減にも努めており、費用対効果は妥当である。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	市内在住及び市内の更生施設等に通っている知的障害者に対してスポーツ及びレクリエーションを振興していく事業のため、市が実施していくことが適当である。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	大会の参加希望者のほぼ全員が参加できる対応を取っており、満足できる。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	大会への参加支援を行い、知的障害者等に目標を与えることは、スポーツを振興していく上で有効である。
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		<p>説明 :</p> 市が参加支援できる範囲内において、最大限の支援及び対応をしている。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		<p>説明 :</p> 既に最小限の職員で行っている事業であり、これ以上のコスト削減は困難。

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	大会に対して、県内全て自治体で補助金の交付等の支援を行っている。
	<p>今後の進め方</p> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了		<p>説明</p> この大会は、すでに知的障害者の中では定着した大会となっており、参加支援は今後も継続していく。

8 二次評価における変更点

--